

介護福祉士の国家試験に合格した学生



# 介護福祉士 全員合格

## 八学短大、留学生2人も

八戸

1月の第38回介護福祉士国家試験で八戸学院大短期大学部介護福祉学科から受験した、留学生2人を含む10人全員が合格を果たした。合格率100%は2年ぶり2度目。小川あゆみ学科長は「学生一人一人を見ながらサポートできたことが全員

合格につながった」と喜ぶ。

厚生労働省によると全体の合格率は70・1%で過去10年で最も低かった。

合格者の最低点が125点満点中64点に対し、同科の受験生は10人中9人が80点以上の高得点だった。

同科では1年次からワークブックを使った国家試験対策を実施。2年からは月1度、模擬試験を行うほか、結果を分析しマンツーマンの個別指導

も信頼される介護士にな

りたい」と意気込んだ。インドネシアからの留学生シャナヤ・オマラさん(21)は「結果を待つている間はなかなか眠れなかった。合格できて安心した」とほっと一息。外国人受験者の合格率は約30%とされる中、試験に向けて学んだ内容を毎日こつこつと復習したという。4月からは青森県内の施設で介護士として勤務する。「体のお世話だけでなく、利用者の気持ちに寄り添い、笑顔を引き出したい」と抱負を語った。

(向屋敷萌)